

学校関係者評価報告書

愛媛県立東温高等学校
学校番号(26)

評価実施日		令和 2 年 2 月 3 日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	渡部 園子	東温市教育相談員	
	野本 勝	遠赤青汁株式会社(主任)	
	吉田 典夫	居宅介護支援事業所ゆのく(管理者・介護支援専門員)	
	八木 良	東温市立重信中学校長	
	渡部 浩美	東温市立川内中学校長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動や読書活動など毎年同じところの評価が低くなっている。改善への具体策が必要ではないか。 ・授業中の態度では、教員はよくやっていると思っているが、生徒の自己評価の方が低くなっている。中学校では反対となっているが。 <p>(2) 生徒指導・人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の様子を近くで見ている、とても礼儀正しいという印象を持っている。 ・困っている人の手助けをしてくれた生徒もあり、感謝している。 ・夕方の下校時に自転車で並進していることがある。 ・人権同和教育の「相談活動」とは、具体的にどのようなことを行っているか。 <p>(3) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学の来年度目標値が例年より上がっているようである。タブレットの活用や様々な取り組みで是非達成してもらいたい。 ・保護者は大学進学率を見ている。しっかりアピールしていくべきである。 <p>2 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の出し方に疑問がある。全体をまとめて示すのではなく、細かな項目別に示し、項目ごとに分析しなければ、誤解を招くのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットをいろいろな授業で活用している。このスタイルを発展させることで授業改善を図っている。 ・授業に取り組む姿勢は、1年生ではかなり意識が変わってきており、積極的な面も見られる。アクティブ・ラーニングなども取り入れており、数値も改善していくと考えられる。 ・規範意識を高く持たせ、個々に寄り添った指導を組織的に行っていく。 ・命の大切さについて重ねて指導をして、交通マナーの向上に努める。登下校指導の方法についても検討する。 ・「相談活動」は教育相談課と情報交換をしながら行い、当事者それぞれが納得できるような活動を行っている。 ・本校は愛媛大学病院や愛媛医療センターに隣接しており、看護科を中心とした医療系(特に愛大や医技大)への進学を充実させていきたい。また、模試結果の共通理解のもと生徒、教員のモチベーションアップを図る。 ・生徒、保護者、教職員のそれぞれのアンケート結果を提示し、特に生徒の実態が正確にわかるような資料で説明する。

3 学校運営への提言

・東温高校の売りは何であるのか。私立高校が生き残りをかけて学校の特色を前面に打ち出している。受検者数が増加し東温高校が活性化するために、東温高校の特色が地域の人に伝わればよい。

・特別活動に力を入れている点はうれしく思う。生徒の自主的、主体的な活動促すことでリーダーも育つし、学習面でも成果が上がる。

・東温高校の良さは「一人ひとりを大切にした教育」である。また、東温高校でリーダーになれる学校というものにしたい。そういうことが地域を担うリーダー育成につながるのではないかと考えている。

・「総合的な探求の時間」における課題研究では全校をあげて組織的に取り組み、課題解決に向けての協働的活動を支援する。